



## ぎふ技術革新センター運営協議会のご案内

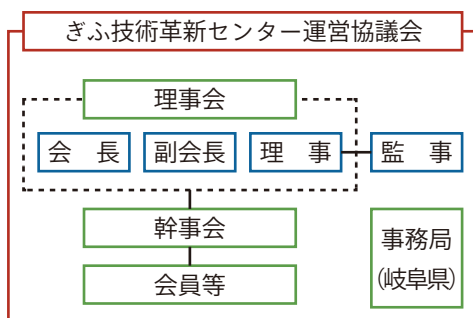


ぎふ技術革新センター 運営協議会  
Technological innovation Center Gifu

## ごあいさつ



## 概要



ぎふ技術革新センター運営協議会の会長を仰せつかりました、下川でございます。

我が国の経済は、2020年に入り、新型コロナウイルス感染症の世界的流行による未曾有の経済停滞にさらされました。現在、製造業全体では生産活動は緩やかに回復しつつありますが、業種によって回復ペースの二極化が起こっています。また、世界的に感染症の収束が見えず、景気の先行きが不透明な状況が続いております。

当地域においては、モノづくりに関する優れた技術やノウハウを有する企業が多く立地しており、「航空機・次世代自動車」、「医療機器」、「環境調和型製品」などの成長分野へ地域産業が展開し、産業構造を高度化・多様化することが重要であると考えております。

これらの活動を推進する産学官連携活動の中核となる拠点として、「ぎふ技術革新センター」を整備、「ぎふ技術革新センター運営協議会」を平成23年に設立しました。

当協議会では本拠点を利用して、「炭素繊維複合材料などの航空機・自動車向け軽量化部材の加工・接合・組立技術」や「医療機器関連技術」、「環境関連技術」、「機械金属に関連する技術」を主な対象分野に、共同研究や人材育成、産学官連携推進などの活動を展開しております。

技術開発における支援として実施している共同研究助成事業では、各研究会から次に繋がる技術開発の芽が出ており、特許化や外部資金獲得等、成果が出ております。また、会員間の人的ネットワーク形成を目的としたミニワーキンググループ事業においても製品化に結びつく事例が出てきております。

このような協議会活動を通じて、様々な課題を克服し、国際競争に打ち勝つことができる強靱な地域の確立を目指しております。

これからも、会員の皆様からのご意見を参考に、産学官連携を促進し、先端的なものづくりを推進する協議会として活動してまいります。

皆様方からのご支援、ご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

令和3年10月

ぎふ技術革新センター運営協議会長 下川 広佳

(川崎重工業株式会社

専務執行役員 航空宇宙システムカンパニープレジデント)

### 【名称】

ぎふ技術革新センター運営協議会

### 【設立年月日】

平成23年3月14日

### 【協議会の目的】

ぎふ技術革新センターにおける産学官連携活動の活性化を目的とし、共同研究助成を始めとする各種助成や人材育成、研究交流などの事業を主体となって実施し、ぎふ技術革新センターにおける革新的な技術開発を積極的に促進し、ひいては地域産業の発展に貢献する。

### 【事業の内容】

- (1) 技術開発の推進と技術の向上を図るための共同研究助成事業
- (2) 会員企業等の人材育成を図るための若手およびシニア機器利用助成事業
- (3) 産学官による積極的な研究交流事業
- (4) その他、地域産学官連携ならびに地域産業振興を促進するために必要な事業

### 【組織】

○役員:会長(1名)、副会長(2名)、理事(10名程度)、監事(2名)

※役員は、特別会員及び正会員の内から互選

○会員等:特別会員、正会員、賛助会員、準会員、オブザーバー

○事務局:岐阜県



## 技術セミナー

成長産業分野の技術動向

### 【最近の実施内容】

- 2019.10 自動車軽量化技術の最前線とその実例  
自動車産業における FRP 製造技術ならびに自動成形技術の紹介  
連続繊維熱可塑性複合材料と自動車量産適用事例 (CFRTP & GFRTF)
- 2020.11 三式戦闘機「飛燕」の修復・復元作業
- 2021.02 自動車・一般機械における軽量高強度化について  
自動車用複合材料の展望 -CFRP, CNF そしてマルチマテリアル  
FRP 強化形態としての組物技術および最近の展開



## ミニワーキング

### 【事業の概要】

- 1 グループ 30 万円を上限に産学官連携活動を支援します。  
整備機器の勉強会、競争的資金獲得のための基礎データの収集など  
様々な活動に活用できます。また、ワーキンググループが企画する  
「公開講演会」も開催しています。

## 主な実施事業

### ＜基本方針＞

地域企業の航空機・輸送機器用軽量化部材や環境調和型製品、高度医療機器、機械金属等の成長分野への展開を図り、産業構造の多様化・高度化を目指す地域産学官共同研究拠点「ぎふ技術革新センター」において、産学官連携活動を活性化するための各種事業を実施する。

### 【共同研究助成事業】

「ぎふ技術革新センター」を活用し、新技術・新製品開発等の共同研究を行うグループに研究費を助成  
助成期間：最大 2 年間 助成額：初年度目 最高300万円、2年度目 初年度交付額の3分の2を上限

### 【若手およびシニア機器利用助成事業】

拠点設備を利用して研究開発に取り組む40歳以下の若手研究員と60歳以上のシニア研究員に対し、機器利用に係る助成金を交付  
(経費の1/2、上限15万円)

### 【研究交流事業】

各種セミナー、機器利用講習会、ミニワーキンググループ事業(上限30万円)、見学会等を通じ、人的ネットワークの形成を支援

## 会員等及び年会費

### 会員等

区分	会員等の位置付け
特別会員	協議会の運営に責任を持ち、中核構成員として運営費を負担する企業、大学および岐阜県
正会員	協議会の主旨に賛同し、協議会の活動を推進するため入会した企業、大学等
賛助会員	協議会の主旨に賛同し、協議会の活動を賛助・後援するため入会した産業団体、経済団体、銀行等
準会員	拠点の活用を通じて、将来正会員になっていただける企業等
オブザーバー	国、関係地方公共団体、国立研究開発法人科学技術振興機構等

### 年会費

イ 年会費	正会員	一口	100,000円
	賛助会員	一口	30,000円
	準会員		無 料

※特別会員は、負担金として運営費を負担頂きます。

ロ 既納の年会費は、返還しません。

※協議会における議決権の行使や各種助成事業への申請には、特別会員または正会員である必要があります。

# ぎふ技術革新センター運営協議会入会申込書

令和 年 月 日

貴会に 正会員 ・ 賛助会員 ・ 準会員 として入会したいので、申し込みます。

1. 事業所名

---

2. 業種(産業中分類区分)

---

3. 主要製品

---

4. 事業所所在地

〒

---

5. 代表者 職・氏名(代表者印)

---

印

6. 申込口数(準会員は記入不要)

---

□

7. 機関名称の公開について

当協議会では会員の機関名称を原則公開しております。下記のチェック欄に記入してください。

公開       会員のみ公開       その他 ( )

8. 協議会連絡担当者

氏名 役職

---

TEL FAX

---

E-mail

---

---

入会を希望される方は、申込書に必要事項を記載し、押印の上、事務局まで郵送ください。

事務手続きの関係上、事前にメールやファックス等で申込書の写しを送付いただきますと幸いです。

本申込書は、下記のホームページからもダウンロードできます。

<https://www.gitec.rd.pref.gifu.lg.jp/conference/join.php>

---

ぎふ技術革新センター運営協議会事務局  
〒501-3265 岐阜県関市小瀬1288番地  
岐阜県産業技術総合センター 産学連携部  
TEL：0575-22-0147 FAX：0575-24-6976  
E-mail：info@tic-g.rd.pref.gifu.jp